

**ITコーディネータ資格認定用ケース研修 [2009年度第2期]**  
**受講者募集・受付のご案内**

2009年5月1日  
ITコーディネータ協会

1. 募集のご案内

【1】募集期間：2009年5月1日（金）15時～7月24日（金）15時（予定）

【2】受講資格：資格としては、特に必要がありません。

ただし、専門スキル特別認定制度を利用して受講する方は2009年5月1日時点で公認会計士、税理士、中小企業診断士、技術士（経営工学、情報工学、総合技術監理部門）、経営品質協議会認定セルフアセッサーのいずれかの資格を取得しており、現在もその資格を保持していることが条件です。専門スキル特別認定制度の詳細はITC協会ホームページのITC制度・専門スキル特別認定制度（URL下記）をご参照ください。

(<http://www.itc.or.jp/authorize/skill/index.html>)

【3】ケース研修開催場所

東京、名古屋、大阪、札幌、仙台、金沢、広島、松山、松江、福岡、鹿児島

【4】ケース研修受講に必要な費用：52万5千円（税込）

内訳：受講料50万円（教材費用を含む）及び消費税等 2万5千円

【5】専門スキル特別認定制度を利用した場合の費用：53万5千5百円（税込）

内訳：受講料50万円（教材費用を含む）及び消費税等 2万5千円

受験料 1万円 及び消費税等 5百円

2. ケース研修のご案内

【1】開催期間：2009年8月21日（金）～2009年11月12日（木）（予定）

【2】コース別開催日程（各コース定員36名、15日間）

開催場所	コース種類	コース数	※開催予定日（赤字は土、日、祝祭日）			
			8月	9月	10月	11月
東京	週末	複数	22, 23	5, 6, 12, 13, 26, 27	3, 4, 12, 24, 25	7, 8
	平日 （月、火）	複数	24, 25	7, 8, 14, 15, 28, 29	5, 6, 13, 26, 27	9, 10
	平日 （水、木）	1	26, 27	9, 10, 16, 17, 30	1, 7, 8, 14, 28, 29	11, 12
名古屋	週末	1	22, 23	5, 6, 12, 13, 26, 27	4, 11, 12, 24, 25	7, 8
大阪	週末	1	22, 23	5, 6, 12, 13, 26, 27	3, 4, 10, 24, 25	7, 8
札幌	平日、週末	1	21, 22	4, 5, 18, 19	2, 3, 9, 10, 23, 24, 30, 31	6

仙台	週末	1	22, 23	5, 6, 12, 13, 26, 27	3, 4, 12, 24, 25	7, 8
金沢	週末	1	22, 23	5, 6, 12, 13, 26, 27	3, 4, 12, 24, 25	7, 8
広島	週末	1	22, 23	5, 6, 12, 13, 26, 27	3, 4, 12, 24, 25	7, 8
松山	週末	1	22, 23	5, 6, 12, 13, 26, 27	3, 4, 10, 24, 25	7, 8
松江	週末	1	22, 23	5, 6, 12, 13, 26, 27	3, 4, 12, 18, 24	7, 8
福岡	週末	1	29, 30	5, 6, 12, 13, 26, 27	3, 4, 12, 24, 25, 31	1
鹿児島	週末	1	22, 23	5, 6, 12, 13, 26, 27	3, 4, 12, 24, 25	7, 8

開催地区	会場所在地・名称 等
東京	IT コーディネータ協会 墨田区横網 KFC ホール (※)
名古屋	名古屋市中区金山 名古屋ソフトウェアセンター
大阪	大阪市中央区神崎町 味覚糖 UHA 館
札幌	札幌市白石区菊水一条 北海道ソフトウェア技術開発機構
仙台	仙台市宮城野区榴岡 仙台ソフトウェアセンター
金沢	金沢市鞍月2丁目 石川県IT総合人材育成センター
広島	広島市西区草津新町 広島ソフトウェアセンター
松山	松山市久米窪田町337-1 テクノプラザ愛媛
松江	松江市北陵町1番地 テクノアークしまね
福岡	福岡市博多区吉塚本町 福岡県中小企業振興センター
鹿児島	鹿児島市山下町 かがしま県民交流センター

受講コースの決定のお知らせは、2009年7月27日(月)以降に、協会から個別に電子メールで行います。その際、会場情報や確定したコース開催日程等を記した実施要領を併せてお知らせします。コースの最低開催人数を20名程度としておりますので、応募者数がこれに満たないコースについては原則として開催いたしません。開催を中止する場合は協会のホームページ上でご案内いたします。また、既に申込済みの方にはメールにてご連絡いたします。

(※) 受講者の申込状況により、会場を追加する場合があります。

### 【3】 ケース研修時間：

1日7時間とし、下記の時間帯を基本といたしますが変更する場合があります。(福岡会場・金沢会場は、括弧内の時間帯を基本といたします)

午前： 9時30分～12時00分(10時00分～12時00分)

午後： 13時00分～17時30分(13時00分～18時00分)

【4】研修内容：15日間の内訳は下記のとおりです。

オリエンテーション・修了式	：	1日程度
座学	：	4日程度
課題演習	：	10日程度

コースによってはカリキュラムが変わりますのでコースリーダーの指示に従ってください。  
(ケース研修のカリキュラムは別紙1(標準カリキュラム)を、座学目次は別紙2をご参照ください)

【5】ケース研修の構成と特徴

(1) ケース研修の構成

カリキュラムは、座学と課題演習とによって構成されます。

時間割、学習パターンの例は、後掲の「(別紙1) ケース研修カリキュラム(標準カリキュラム)」  
をご参照ください。

(2) ケース研修の特徴

ケース研修は、仮想企業の事例を題材に、経営戦略策定からIT活用までを一貫して体系化した「ITC  
プロセスガイドライン」に沿って実施されます。最新の方法論、ツール類(バランス・スコアカ  
ード、経営成熟度モデルなど)をリファレンスとして活用し、問題解決能力を体系的に習得できる、  
他に例を見ない研修です。

大きな特徴、期待効果としては下記が挙げられます。

①課題演習と座学の相乗効果

課題は、ITCプロセスガイドラインに準拠して、中でも重要度の高い部分を取り扱って  
おり、ITCプロセスの流れと要点を模擬演習の形で体験していただけるようになってい  
ます。座学は、主にITコーディネータが必要とする知識領域を取り扱っています。ITコ  
ーディネータとしての立ち位置や考え方、必要となる手法や知識等を、課題に先立って  
学んでいただくことにより、課題への取り組みが容易になります。

②人的ネットワーク形成

15日間に亘って、バックグラウンドの異なる受講者同志が白熱した討議を展開すること  
を通じて、本音で話せる異業種及び同業種のスペシャリストとの人的ネットワークが形成  
できます。

③プレゼンテーション能力・コミュニケーション能力の向上

顧客へのプレゼンテーションを想定した発表と質疑応答を繰り返すことにより、コミュ  
ニケーション能力が大きく向上します。

④ロールプレイによる模擬体験

ロールプレイの導入により、会社側を演じるインストラクターとITCの立場を演じる受  
講者の中で臨場感のある模擬体験が可能となります。経験豊富なインストラクターによ  
るタイムリーな指導、助言および講評が問題解決能力を大幅に高めます。

(参考) ケース研修を受講した受講生からの投稿を「受講体験記」として、協会ホーム  
ページ(URL下記)に掲載しております。

(<http://www.itc.or.jp/authorize/training/report/index.html>)

#### 【6】 ケース研修修了基準

- ① 出席率が90%以上であること
- ② 座学及び課題演習に積極的に取り組むこと
- ③ アンケート類をすべて提出すること

### 3. 申込受付のご案内

【1】 受付期間：2009年5月1日（金）15時～7月24日（金）15時（予定）

#### 【2】 応募申請方法

協会ホームページの「ITC 資格認定用ケース研修【2009年度第2期】応募申請」に（Web画面から）直接、受講を希望される本人が入力してください。

専門スキル特別認定制度を利用してケース研修を申し込まれる方は、ケース研修応募申請画面の申込情報の■申請区分で「ITC 専門スキル特別認定」にチェックを入れてください。希望コース、保有資格、資格証明書番号、資格取得年月を必ず入力してください。

なお、今期ケース研修受講者以外の方で、本制度を利用し、受験を希望される方については、別途協会ホームページにて手続き等をご案内いたしております。

受講者が申し込まれた個人情報漏洩することのないよう、万全を期しております。

#### 【3】 ケース研修受講コースの決定及び通知

(1) 各コースの受付は先着順とし、定員に達した時点で受付を終了いたします。

(2) 受講コースの決定は先着順及び応募申請の記載事項により行いますが、各コースにおいてIT業務者と経営支援業務者の方にバランスよく入って受講していただく為に、第1希望のコース以外への調整をさせていただく場合がありますので御了承ください。

(3) 受講者の方へのコース決定通知は、2009年7月27日（月）以降、応募申請に記入された「応募受付のご連絡先」宛に電子メール等にてご連絡致します。その際、研修実施要領（会場地図を含む）、受講意志確認書をお送りいたしますので、受講確認書を速やかにご返信ください。

(4) コースの最低開催人数を20名程度としておりますので、応募者数がこれに満たないコースについては原則として開催いたしません。開催を中止する場合は協会のホームページ上でご案内いたします。また、既に申込済みの方にはメールにてご連絡いたします。

(5) 教材セット（以下の3点）等はケース研修の開始前1週間を目途に郵送（指定された資料送付先宛）いたします。

- プロセスガイドライン
- ケース研修座学テキスト
- ケース研修テキスト

研修開始までにテキストを熟読しておいてください。

(6) コース決定通知後は原則としてコースの変更が出来ませんのでご注意ください。

(7) 専門スキル特別認定制度を利用してケース研修を申し込まれた方へは、別途、手続き等の詳細を電子メールにてご連絡いたします。

#### 【4】 受講費用のお支払

ケース研修申込受付後、請求書を郵送（指定された資料送付先宛）いたします。受講費用はケース研修開始までに一括でお支払い願います。受講費用は原則として返還いたしません。

---

=====  
<ケース研修に関するお問い合わせ先>  
ITコーディネータ協会ケース研修事務局  
電話：03-5733-8391  
=====

(別紙1) ケース研修カリキュラム (標準カリキュラム)

コースによってはカリキュラムが変わりますのでコースリーダーの指示に従ってください。

ケース研修カリキュラム					
日目	1 時限	2 時限	3 時限	4 時限	5 時限
1	オリエンテーション	座学第1章 ITC制度	課題1 ケース対象企業の理解		本日のまとめ
2	座学第2章 総論		課題2 (ロールプレイを含む) 経営者との握りとプロジェクトの開始		本日のまとめ
3	座学第2章 総論 (続き)		座学第3章 経営戦略	課題3 経営環境の把握と整理	本日のまとめ
4	課題3 経営環境の把握と整理(続き)		課題4 (ロールプレイを含む) あるべき姿の決定と共有		本日のまとめ
5	課題5 あるべき姿実現のための条件の決定				本日のまとめ
6	課題6 経営戦略企画書とIT化の対象決定				本日のまとめ
7	座学第4章 IT戦略策定		課題7 IT化活動の現状の把握と整理		本日のまとめ
8	課題7 IT化活動の現状の把握と整理 (続き)	課題8 IT化のあるべき姿の決定と共有	課題9 IT化のあるべき姿実現のための条件の決定		本日のまとめ
9	課題9 IT化のあるべき姿実現のための条件の決定 (続き)		課題10 (ロールプレイを含む) 実行項目の決定と共有		本日のまとめ
10	座学第5章 IT戦略実行		課題11 調達要件の整理とRFPの発行		本日のまとめ
11	座学第5章 IT戦略実行—IT導入		課題12 提案評価と交渉		本日のまとめ
12	課題13 業務プロセス改革計画とIT導入実行計画		課題14 新業務プロセスの詳細化・業務移行準備とIT導入マネジメントのリスク		本日のまとめ
13	座学第6章 ITサービス活用		課題15 総合テスト・システム移行とITサービス活用判断におけるマネジメントとリスク		本日のまとめ
14	課題16 SLMの仕組み構築と初期費用の問題解決		課題17 モニタリング指標の実績評価と提案		本日のまとめ
15	課題18 プロジェクト結果の報告と承認			研修総括 修了式	専門スキル特別認定試験

---

## (別紙2) 座学テキストの目次

はじめに

### 第1章 ITコーディネータ制度

1. ITコーディネータ
2. ITコーディネータ協会
3. 国の施策と支援制度
4. 参考資料

### 第2章 総論

1. 会社
2. 経営とIT
3. 共通

### 第3章 経営戦略

1. 経営戦略フェーズ
2. フレームワーク
3. 経営品質と経営成熟度
4. 経営戦略策定
5. 経営戦略の展開
6. 経営戦略プロセスのアウトプット
7. 経営戦略プロセスとITCの役割
8. リファレンス

### 第4章 IT戦略策定

1. IT戦略策定フェーズ
2. IT動向
3. IT化活動の成熟度
4. IT戦略策定プロセス
5. IT戦略プロセスのアウトプット
6. IT戦略プロセスとITCの役割
7. リファレンス

### 第5章 IT戦略実行

1. IT戦略実行フェーズ
2. IT資源調達
3. IT資源調達プロセスにおけるITCの役割
4. IT導入フェーズ
5. IT導入

- 
- 6. IT 導入プロセスにおけるITC の役割
  - 7. リファレンス

## 第6章 IT サービス活用

- 1. IT サービス活用
- 2. IT サービス維持
- 3. IT プロジェクトモニタリング
- 4. IT 経営の評価・改善
- 5. 組織
- 6. IT サービス活用プロセスにおけるITC の役割
- 7. リファレンス

以上